

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 9月 12日

アンケート期間:令和 5年 8月 1日~令和 5年 8月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS 大口校

保護者等数(児童数)21 回収数 19 割合 90.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1	0	0	・広さは十分ありました。	・限られたスペースでも、教具の置く位置を工夫しながら広く使えるように考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	1	2	・1対1で適切。	・これからも人員の変更があればお伝えしていきます。 ・職員の専門性も発揮できるようにしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	1	0	0	・構造上仕方ないのかも知れないが、階段踊り場とドアの間が狭く、送迎が重なりそうと怖い。雨の日等滑りそうと怖い。	・ご指摘ありがとうございます。建物の構造上改善が難しいかと思いますが、安全に利用していただけるように考えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	0	0	・いつも清潔にされています。	・毎日掃除・消毒・整理整頓を行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	0	0	0		・保護者様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として計画の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	0	0	0	・面談で時間をしっかりとって適切な支援を選択いただいています。	・これからも面談の時間をしっかりと設けて、必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定を行います。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	0	0	0	・面談で説明されています。	・これからも面談で計画書のご説明をさせていただき、計画書に沿った支援をさせていただきます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	1	0	0		・プログラム構成が被らないように、工夫しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	6	5	・個別療育だと思うので、特に必要だと感じていません。 ・個別療育施設なので、ないことに問題ありません。	・現在交流など行っていません。必要に応じ検討していきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0	・時間を取って説明がありました。	・これからも丁寧な説明を心掛けていきます。

保護者への説明等

11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり時間を取ってもらい説明がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、ひとりひとりのお子様に合った個別支援計画書を作成し、最低半年に一度保護者様にご説明の上、サインと印鑑をいただき同意を得ていきます。
12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時に対応の仕方等教えてもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも面談のときや振り返りをする時に対応の方法をお伝えしていきます。 ・家族支援プログラムは、必要に応じ検討していきます。
13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回利用後にできたことなど説明がありました。 ・子どもの様子や何をしたのか教えていただいているが、実際にトレーニングの様子を見れる機会があると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも直接お話をさせていただく中で、情報の共有をし、共通理解ができるようにしていきます。また、公式LINEも活用していきます。 ・トレーニングの見学に関しましては、検討していきます。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談があります。 ・日常生活について具体的なアドバイスをいただけて助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも定期的な面談を行います。 ・何かお困りごとがあればいつでもご相談下さい。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	2	7	4	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等開催されています。 ・保護者会等はないが、イベント時に顔を合わせたり少し話す位で十分と感じています。 ・保護者が学べる場の提供があると子供との関わりをアップデートしていけると思っています。ぜひお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも引き続きイベントの開催をする予定になっておりますので、ぜひご参加ください。 ・保護者様の学べる場の提供に関しましては、現状行うことが難しいと思われるので、何かお困りごとや相談などがあれば直接職員に声を掛けていただくか、LINEを使ってお伝えください。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したことについて、すぐに対応して対策案を考えていただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも、できるだけ迅速かつ適切な対応を心掛けていきます。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も意思の疎通や情報の伝達を心掛けていきます。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	2	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramにて活動などの様子を投稿しています。 ・必要に応じて公式LINE等でお便りを発行しています。 ・自己評価の結果は、S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18	0	0	1		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	16	0	0	3	・マニュアルのファイルがあったような気はするが説明されたかどうかの記憶がない。	・マニュアルは待合に閲覧できるように用意してあります。 ・必要に応じて説明もさせていただきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	0	0	2		・年に2回実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	0	0	0	・笑顔で通えています。 ・どの職員の方子供に寄り添って下さり、楽しかったと帰ってくるので満足しています。	・ありがとうございます。これからも、お子様や保護者様から多くの励ましのお言葉がいただけるように頑張ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	19	0	0	0	・大変満足しております。	・現状に甘んじることなく今以上に満足度を上げていけるように努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 9月 12日

アンケート期間:令和 5年 8月 1日～令和 5年 8月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS 大口校

保護者等数(児童数) 50 回収数 37 割合 74 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34	3	0	0	・もう少し広ければいいと思うことはありませんが、不満はありません。	・限られたスペースでも、教具の置く位置を工夫しながら広く使えるように考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	30	3	0	2		・これからも人員の変更があればお伝えしていきます。 ・職員の専門性も発揮できるようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	7	5	4	・肢体不自由児に向けての事業所ではない為スロープ設置等バリアフリー化にはなっていないが、必要な個所に手すりは設置されています。	・当校は受給者証をお持ちの方であれば利用できる事業所となっておりますので、身体に障がいのある方も通っていただける事業所です。しかし、バリアフリー化がなされていないため、ご利用できない方はみえるかもしれません。必要に応じ検討していきます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	36	0	0	1		・これからも保護者様やお子様からのニーズ等を聞かせていただき、計画書に反映させていただきます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	36	0	0	1		・プログラム構成が被らないように、工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	6	15	12	・障がいのない子どもとの交流する機会を求めてトレーニングを受けていない為、なくても大丈夫です。	・今のところ交流等は考えておりません。しかし、保護者様からのご要望があれば必要に応じ検討させていただきます。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37	0	0	0		・これからも丁寧な説明を心掛けていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	0	0	1	・トレーニング後には取り組んだ内容をしっかり教えて頂けるので、現状と課題が把握でき有難いです。	・これからも直接お話をさせていただく中で、情報の共有をし、共通理解ができるようにしていきます。また、公式LINEも活用していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	2	0	0		・これからも定期的な面談を行います。 ・何かお困りごとがあればいつでもご相談下さい。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	7	11	12	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験等個別に開催していただき、交流する機会を設けて頂いている部分もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも引き続きイベントの開催をする予定になっておりますので、ぜひご参加ください。 ・保護者会等の開催につきましては、現状行うことが難しいと思われまますので、何かお困りごとや相談などがあれば直接職員に声を掛けていただくか、LINEを使ってお伝えください。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	1	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった状況を経験していないため、わかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ適切な対応を心掛けておりますが、至らないことがあり、大変申し訳ございませんでした。改善に努めてまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング時にお友達の手が当たったと細かな事まで教えて頂けるので、しっかり配慮されていることを実感します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も意思の疎通や情報の伝達を心掛けていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	0	0	6		<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramにて活動などの様子を投稿しています。 ・必要に応じて公式LINE等でお便りを発行しています。 ・自己評価の結果は、S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	34	0	0	3		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫にて保管させていただいております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	3	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルに閉じて常に見られる状態で保管して頂けているので、有難いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは待合に閲覧できるように用意してあります。 ・必要に応じて説明もさせていただきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を実施して頂いているので、非常時に備えられていると感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回実施しています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	36	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しみに通っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみに通っていただいている方が多く嬉しい反面、楽しみにされていない方もみえるようで、反省しなければなりません。できれば理由を伺い、改善できればと思っております。
	18	事業所の支援に満足しているか	37	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭ではできない身体の使い方を学べるので、とても満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に甘んじることなく今以上に満足度を上げていけるように努力していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 9月6日

公表: 令和 5年 9月 12日

事業所名 S.I.C.KIDS 大口校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用児童によってスペースや教具の配置を工夫しています。	・今後も柔軟な発想で決められたスペースの中でもより良く活動できる様に工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・規定に準じた職員数を配置しています。 ・変更があればお伝えしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・靴を入れる場所や荷物を置く位置、また使った教具を片付ける場所等視覚的にわかりやすくしています。	・本校は階段を上って2階になるので、バリアフリー化の配慮がなされていません。今後の課題として検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日掃除・消毒・整理整頓を行っています。	・毎日掃除・消毒・整理整頓を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・業務の改善は全職員常に考えながら業務を行っています。	・引き続き業務改善を意識しながら業務を行います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者様の意向を把握し、改善に努めています。	・引き続き業務改善を意識しながら業務を行います。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。	・S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開していることを周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	/	/		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・内部研修や外部研修にも参加しています。	・今後も積極的に研修に参加し知識を深めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として個別支援計画書の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。	・これからも、常にアセスメントの方法が適切なのか考え、改善に取り組んでいきます。 ・お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で計画書の作成を行います。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートや原始反射のチェックシート、サービス等利用計画等を使いそれぞれのお子様の適応行動などを把握しています。	・より分かりやすく把握できるように、ツール等の改善も行います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定を行っています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画書に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・話し合う時間を設けています。	・時間の確保が難しいので、全体的な業務の改善が必要と考えています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・プログラムが固定化されないように、新しいプログラムの開発に全職員取り組んでいます。	・新たなプログラムの開発はスピード感を持って取り組んでいきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○	・感覚統合を個別に行っています。	・集団に適應できる土台を作っていきます。	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝ミーティングを行っています。終了後のミーティングを行わない代わりに、朝のミーティングには必要に応じ時間をかけて行っています。	・ミーティングの方法も常に変化させ、より良い方法を模索していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・終了後には打ち合わせをせずに、翌日行っています。気付いた点等は、全職員共有しています。	・ワークライフバランスの観点から残業時間の削減に取り組むことで、心身ともに健康な状態になることで、より良い支援ができるように心掛けています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・支援担当者が毎回記録し、支援の検討・改善を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・最低でも半年に一度の計画の見直しをしています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担当者会議には緊急やむを得ない場合を除いては、毎回参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	・大口町の連絡会議で面識がある程度で、連携までは行っていません。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	・現在該当者なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・現在該当者なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		・保護者様の要望があれば、必要に応じ情報共有に努めていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		・保護者様の要望があれば、必要に応じ情報共有に努めていきます。
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・担当者会議など他事業所の方からお話を聞き日々の支援に活かしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・現在交流など行っていません。必要に応じ検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	/	/	・大口町には自立支援協議会がないため参加していません。 ・事業所連絡会議には参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・利用日には必ず担当職員等が情報共有を行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○	・具体的にペアレントトレーニングを行っているわけではないが、お話を聞き助言等をさせていただいています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・伝わるように説明する事を心掛けています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・ひとりひとりのお子様にあった個別支援計画書を、最低半年に一度作成し保護者様にご説明の上、サインと印鑑をいただき同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談された場合は、しっかりとお話を聞き、悩みの解決につながるようにと、可能な範囲で助言等させていただいています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者同士の連携を支援する場を設けていません。	・要望を傾聴しながら検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・できるだけ迅速な対応を心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・インスタにて活動などの様子を投稿しています。 ・必要に応じてお便りを発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・可能な限り伝達を心掛けています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域住民を招待する行事を行っていません。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	・保護者様がいつでも閲覧できるように待合に用意してあります。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年に二回の訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・現在該当児童の利用なし。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			・食事の提供がないため、該当なし。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット事例集を作成し全職員で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・偶数月に必ず虐待防止委員会を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・偶数月や必要な時に身体拘束適正化委員会を運営し、やむを得ず身体拘束する時の基準を職員全員で共有しています。また、保護者様には契約時、個別支援計画書の更新時には必ず説明し同意を得て計画に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和 5年 9月6日

公表:令和 5年 9月 12日

事業所名 S.I.C.KIDS 大口校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・利用児童によってスペースや教具の配置を工夫しています。	・今後も柔軟な発想で決められたスペースの中でもより良く活動できる様に工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・規定に準じた職員数を配置しています。	・今後も変更等があった時はお伝えしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・靴を入れる場所や荷物を置く位置、また使った教具を片付ける場所等視覚的にわかりやすくしています。	・本校は階段を上って2階になるので、バリアフリー化の配慮がなされていない。今後の課題として検討して行きます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・業務改善は全職員常に考えながら業務を行っています。	・引き続き業務改善を意識しながら業務を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	/	/		・保護者様の意向を把握し、改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開しています。	・S.I.C.KIDSのホームページやWAM NETで公開していることを周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	/	/		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・内部研修や外部研修にも参加しています。	・今後も積極的に研修に参加し知識を深めていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・保護者様からお話を聞かせていただき、サービス等利用計画書を土台として個別支援計画書の作成を行っています。また、作成時には全職員で計画を検討する時間を設けています。	・これからも、常にアセスメントの方法が適切なのか考え、改善に取り組んでいます。 ・お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で計画書の作成を行います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートや原始反射のチェックシート、サービス等利用計画等を使いそれぞれのお子様の適応行動などを把握しています。	・より分かりやすく把握できるように、ツール等の改善も行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・話し合う時間を設けています。	・時間の確保が難しいので、全体的な業務の改善を行っていききたいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・プログラムが固定化されないように、新しいプログラムの開発に全職員取り組んでいます。	・新たなプログラムの開発はスピード感を持って取り組んでいます。

適切な支援の提供

13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	・平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定しているわけではないが、必要に応じプログラムの構成を変えています。	・保護者様のご要望があれば必要に応じ検討していきます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○	・感覚統合を個別に行っています。	・集団に適応できる土台を作っていきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	・毎朝ミーティングを行っています。終了後のミーティングを行わない代わりに、朝のミーティングには必要に応じ時間をかけて行っています。	・ミーティングの方法も常に変化させ、より良い方法を模索していきます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・終了後には打ち合わせをせずに、翌日行っています。気付いた点等は、全職員共有しています。	・ワークライフバランスの観点から残業時間の削減に取り組み、心身ともに健康な状態になることで、より良い支援ができるように心掛けています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	・支援担当者が毎回記録し、支援の検証・改善を行っています。	・これからも記録の書き方やフォーマットなどの見直しをすることで、より支援の検証・改善ができるようにしていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○	・最低でも半年に一度の計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	・自己選択させながら日々の活動に取り組み、達成感を味わうことで自己肯定感を高めています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○	・担当者会議には緊急やむを得ない場合を除いては、毎回参画しています。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	・送迎を行っていないため、学校との関わりは薄いです。保護者様に送迎を依頼しているため、情報は保護者様から頂いています。	・必要な時に都度対応させていただきます。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	・現在該当者なし。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	・相談員さんを通じて行っていますが、直接のやり取りはありません。	・必要な時にその都度情報交換を行います。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			・障害福祉サービスに移行したお子様がない。	・今後そのような機会がありましたら、都度対応させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・担当者会議など他事業所の方からお話を聞き日々の支援に活かしています。	・他事業所とのあまり関わりが少ないので、今後課題としていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・現在交流など行っていません。	・要望を傾聴しながら検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			・大口町には自立支援協議会がないため参加していません。 ・事業所連絡会議には参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・利用日には必ず担当職員等が情報の共有を行っています。	・これからも、保護者様と情報の共有をしていきます。
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・具体的にペアレント・トレーニングを行っているわけではないが、お話を聞き助言等をさせていただいています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・伝わるように説明する事を心掛けています。	・これからもより分かりやすく、より伝わるように努力していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談された場合は、しっかりとお話を聞き、悩みの解決につながるよう、可能な範囲で助言等させていただいています。	・職員全員知識を深め、より適切な助言や支援ができるようにしていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者同士の連携を支援する場を設けていません。 要望を傾聴しながら検討していきます。	・ご要望があれば連携等が取れる機会を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情や要望をお聞きしたときは、なるべく迅速かつ適切に対応することを心掛けています。	・今後も適切に対応できるように心がけていきます。

等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・インスタにて活動などの様子を投稿しています。 ・必要に応じてお便りを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		・鍵付きの書庫に保管し、十分注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・可能な限り伝達を心掛けています。	・今後も適切に対応できるように心がけて行きます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域住民を招待する行事を行っていません。	・要望を傾聴しながら検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・保護者様がいつでも閲覧できるように待合に用意してあります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年に2回の訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・偶数月に必ず虐待防止委員会を行っています。その中で研修も行っていきます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・偶数月や必要な時に身体拘束適正化委員会を運営し、やむを得ず身体拘束する時の基準を職員全員で共有しています。また、保護者様には利用契約時や個別支援計画書の更新時には必ず説明し同意を得て計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		/	/	・食事の提供がないため、該当なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット事例集を作成し全職員で共有しています。	・ヒヤリハットの作成の頻度を上げ事故になる前に未然に防いでいきます。